

①▶▶ 本学科の教育理念

- ・豊かな人間性と「もてなしの心」をもった人材を育てます。
- ・高度な専門知識と問題解決能力および実践力を持った管理栄養士を育てます。
すなわち、豊かな人間性と「もてなしの心」を持ち、健康を支える食の知識と人体に対する理解の上に傷病者のケアと人々の健康保持・増進をサポートする専門能力に優れたスペシャリストとしての管理栄養士を養成することを目標としています。

②▶▶ 本学科の教育方針

- ・全ての科目において「もてなしの心」と豊かな人間性をもつような“人作り”を核にします。
- ・人体、社会と人間関係、生活環境、食べ物等の基礎的知識を着実に習得し、管理栄養士としての高度な専門知識を学ぶ能力と姿勢を早期に形成できるようにします。
- ・人々の集団のみならず一人ひとりを対象として適切に評価し、個々の状況にあった健康の向上のための指導能力を養います。
- ・常に指導対象を意識しながら高度で実践的な専門知識を確実に習得し、多くの実習を体験させながら応用力と問題解決能力を高めます。
- ・めまぐるしく変化する現代社会に対応した適切な行動がとれ、国際的視野をもった社会人を育てます。

③▶▶ 本学科の求める学生像

- ・目標に向かって全力で勉強する意欲を持っている人
- ・栄養、食べ物、人体、健康と社会環境等に関する幅広い学問を主体的に学ぼうとする人
- ・対人援助職である管理栄養士の仕事に強い興味を持っている人
- ・コミュニケーション能力を発揮し自分だけでなく周囲の人も大切にすること
- ・幅広い興味関心を持ち何事にも積極的にチャレンジする人
- ・管理栄養士として国際的な活躍をしてみたいと思っている人

④▶▶ 入学前指導

本学科に入学予定のあなたの意欲や目的に対する気持ちが低下しないように、本学科では入学前指導の課題を用意しています。

①▶▶ 本学科の教育目標

大学における教育の目的は、単に「専門性を有する人材の育成」ではなく、「専門性を持った教養人の育成」にあります。医療従事者にあつては、対象とする人々の生命を預かり、その人生の一部を共有するために「人間の理解」が不可欠です。このためには専門知識・技術を求めるのみならず、広く教養を修めそれぞれの人の持っている生き方を十分に理解し受け止められる人材が必要です。本学科ではこの教養あるプロフェッショナルを育成することを目指しています。

②▶▶ 本学科の求める＝目標とする学生像

- ・生涯にわたり(大学卒業後も)主体的に学ぶ意欲を持っている人
- ・知識のみではなく、自分を創る^{創造}智慧を求め人
- ・自ら問題を見つけ出し、その解決方法を自分で見つけ出すことのできる人
- ・専門家としてのコミュニケーションやプレゼンテーション能力を発揮できる人
- ・個人と社会との関わりやモラルについて細やかな配慮のできる人

③▶▶ 理学療法士を目指す者として

- ・理学療法の仕事について興味のある人(基本的な仕事の内容を理解していることが望ましい)
- ・人の運動・動作のメカニズムと、そこに起こる制限や障害のメカニズムについて興味のある人
- ・理学療法士として障害のある人への積極的な支援や、疾患の予防・治療に携わる意思のある人

④▶▶ 入学前指導

本学に入学予定のあなたの意欲や目的に対する気持ちが低下しないように、本学では入学前指導の課題を用意しています。

①▶▶ 本学科の使命（理念）

『作業療法は最高に面白い』

私たちは最高に「面白い」作業療法学科を目指します。

「面白さ」とは、新しい価値の発見であり創造です。

作業療法という新しい学問の「面白さ」、日々広がる領域にチャレンジする「面白さ」、そしてなにより、作業療法の対象となる方の人生に寄り添い、その人らしい生活が送れるように共に考える「面白さ」。これら全てにおいて「最高に面白い」と言える作業療法士の養成を目指します。

②▶▶ 本学科の教育方針

最高に「面白い」作業療法のために、本学科では以下の教育方針を掲げています。

- ・自由に主体的に判断し行動できる：自分で考え、自分で判断し、自分で責任をもたないとそもそも「面白く」ありません。
- ・コミュニケーション能力を備えている：他の人にも「面白さ」を伝えてそれを共に味わいましょう。
- ・地域における作業療法を理解している：地域の作業療法は今最高に「面白い」ことのひとつです。
- ・国際性を身につけている：「面白さ」もグローバル化が必要です。
- ・科学的方法論と理論的構成力を身につけていること：根拠のない「面白さ」はNGです。
- ・作業療法に関する高度な専門知識を有していること：真剣に、知れば知るほど、やればやるほど「面白く」なります。

③▶▶ 求める学生像

- ・作業療法に強い興味を持ち、積極的に「面白さ」を追求しようとする意欲のある人
 - ・多様なチャレンジや社会貢献などを通じて積極的に作業療法を「面白く」しようという夢のある人
 - ・さまざまな生活や人生に「面白さ」を感じる人
 - ・温かみやユーモアを理解できる人
- これらの「意欲」「夢」「生活への興味」「温かみやユーモア」について、提出書類をもとにして面接を行いません。
あなた自身の豊かな「面白さ」をぜひ自分の言葉でアピールしてください。

④▶▶ 入学前指導

本学に入学予定のあなたの意欲や目的に対する気持ちが低下しないように、本学では入学前指導の課題を用意しています。

①▶▶ 本学科の教育理念

看護学科の教育は、高度化する医療、多様化する保健福祉分野など、看護師にはより高度な専門知識と共に広い視野と豊かな人間性をも求められています。社会の変容に柔軟に対応できる看護師の育成を目指しています。

②▶▶ 本学科の教育目標

柔軟な対応能力がある看護師として大切なことは、対象となる人々を身体と心と環境すべてを理解し、その人々を尊重し、チーム医療の要として他の関係メンバーと連携ができ、自らの役割と責任を果たすことです。看護師としての知識と技術を深めるだけでなく、社会に対して問題意識を持ち主体的に学習していくことを看護学科の教育目標としています。

③▶▶ 本学科の求める学生像

看護学科は柔軟な対応能力のある看護師を育てるために、次のような人の入学を期待しています。

1. 看護を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ人
2. 看護に関心を持ち、主体的に学習する意欲のある人
3. 社会の一員として自覚し、人を尊重する人
4. 柔軟な思考や行動力を発揮できる人

④▶▶ 入学前指導

大学教育では、受身の学習ではなく、自ら疑問や課題を見出し、自ら調べ自分の考えをまとめることが目標となります。本学科では入学後の皆様の学習の支援の一環として、「入学前の課題」を実施しています。この「入学前の課題」の目的は、入学後の学習が円滑に行なわれるために、高等学校で身に付けた知識等を活かして、大学入学後の授業内容を結びつけるための準備学習として行います。

①▶▶ 本学科の理念

本学科はこどもの「こころ」と「からだ」の「健やかな発達」を願い、こどもと向き合いこどもたちの命とこころを育む保育者・教育者の養成を目指します。

こどもにかかわる環境の変化は多様化しており、そうした変化に対応する十分な能力・資質を持った保育者が強く求められています。また、保育所・幼稚園から小学校へのなめらかな接続を図り、乳幼児から児童まで幅広い理解と知識・実力をあわせ持つ保育者・教育者が必要です。さらに、特別な支援を必要とするこどもの増加に対応する教育者を育成することが、健常児の中にも支援を必要とするこどもを早期に発見し、適切な支援を可能とします。

みなさんが、本学科において保育士資格・幼稚園教諭免許の他に小学校教諭免許・特別支援学校教諭免許を取得し、こどもの心の発達と健康の実現に寄与し、プロフェッショナルとしての実力と視野を備えた保育者・教育者であり、社会の一員として確実にその力を発揮し、優れた総合的な能力を有する人材として羽ばたくことを期待します。

②▶▶ 本学科の教育方針

- (1)「楽しさを共有する」：こどもを明るく楽しませ、自分自身が楽しみ、周囲の人々と「楽しさ」を共有することから全てが始まります。主体的・創造的・挑戦的「楽しさ」を共有できる資質を養成します。
- (2)「行動と考えを一体化する」：自らが動きこどもと向き合う、自らを動かすたくましい意志。ありのままのこどもを見つめ洞察する力、自省し、生じる新たな発見。発達支援のプロフェッショナルとして、理論と実践が一体化できる能力を養成します。
- (3)「広い視野とバランス感覚をあわせ持つ」：真のプロフェッショナルであるには家庭や地域の人々と協力し、こどもの成長や発達について寄与できる社会人であるべきです。バランス感覚豊かな優れた資質・能力を養成します。

③▶▶ 本学科の求める学生像

- (1)いろいろな人とかわり、意志や思いを伝えあいたいと願う人、コミュニケーション能力を常に高めたいと考える人。
- (2)広い視野を持つ努力を怠らず、人々の生活に幅広く目を向け、論理的思考能力を持ち、バランス感覚に優れた人格でありたいと願う人。
- (3)こどもの幸せを願い、こどもの発達を支えていく意欲にあふれ、専門的な力を発揮するための努力を怠らず、自ら行動することを目標とする人。
- (4)こどもの生活や成長に強い関心を持ち、ユニーク入試等にも積極的にチャレンジする意欲のある人。